

インターネットの小学校での利用 - 困難を克服するために - (中山和彦)	1
スタディノートの研修は「人にやさしい町」で (余田義彦)	3
「人にやさしい町」研修会資料(1)	5
「人にやさしい町」研修会資料(2)	7
<スタディノートメーリングリストから>長野県信州新町中学校の実践紹介のご紹介	9
スタディタイム試用版について	9
お知らせ(スタディノート実践ビデオ増刷・スタディノートVer 4用名簿管理プログラムの提供について)	10
余田先生からの耳より情報(通販で買える格安インターネットビューカム初代機)	10

## インターネットの小学校での利用(2)

～ 先生方の時間とエネルギーが不可欠 ～

中山 和彦

前号に、一般のネットワーク技術者が、小学校でのインタ - ネット利用は無理ではないかとしている理由、また、取手市戸頭西小学校の6年生が社会科で、同じ茨城県内でおきた原子力臨海事故について、児童が自分たちでインタ - ネットを通じて情報を集め、スタディノートを用いて取りまとめているのが、公開された時に、参観の先生方が話し合っていた問題点を記した。それらをまとめると、次のようになる。

低学年では、キーボードを用いるのは困難。

小学校では、手で書かせることが重要。

各小学校のホームページは教師が作っているのが、子どもどうしの情報交換にはならない。

児童に役に立つ情報サイトが非常に少ない。

必要とする内容のサイトがあっても、文章や漢字が難しく、6年生でも理解できないものが多い。

検索プログラムで小学生に使えるものがない。

子ども向けの「YAHOO きっず」は、内容が乏しい。

インタ - ネットによる情報収集は、新聞の切り抜きを全員に配るのより時間がかかり、無駄があり、全員に同じ情報が行き渡らない。

先生が指導すれば、1時間で十分な内容に、何時間も使わせるのでは教科書をカバーできない。

### 問題点の内容とそれに対する答え

これ以外にも、小学校でのインタ - ネット利用についての問題点は数多く指摘されるであろう。今号では、以上に記された問題を中心に考えてみたい。

これらの問題点は、次の3つの内容に分類できる。

- (1) 担当する先生の教育観に基づく問題( )
- (2) 子どもの発達段階に応じた問題( )
- (3) 子ども向けのものがないという問題( )

しかし、それぞれの問題は微妙に重なりあっており、簡単に結論づけることは出来ない。極論をすれば、(1)はそれぞれの先生自身が持っている教育に対する考え方の問題である。ここに示したような考えを持つ先生方に、「そうではなく、その中に重要なものがあるのだ。」と説明はする。それでも自分の考え方に固執されるならば、「そうですか、ご自由に。」と言う他ない。可哀相なのは児童である。

(2)(3)の問題は、「現在ではその通りです。」「近い将来には変わって来るでしょうから、現在のをどう使うか考えて下さい。」という他に答えようはない。

### 低学年生の入力の問題

(1)の問題から順に考えてみよう。まず、の低学年生のキーボード入力の問題である。キーボードが使えなければ、マウス入力を中心にすればよい。そう遠

くない将来には、ペン(書き文字)入力や音声入力が小学校で使えるレベルになるだろう。また、これまでの経験から、キーボード操作は子どもにとっては大きな問題ではないと思っているから、余り心配はしない。

キーボードを使うより手で書くことが重要だという意見に対しては、「どちらも大切であり、子どもがやりたいというのを禁止することは、その子の将来に影響する可能性がありますよ。また、全ての学習時にキーボードを使うのではなく、キーボードを使うのはごく僅かの時間なので、余り大きな問題にはならないと思いますよ。」と言いたい。

今から10数年前、新潟県の小木ノ城保育園の園長が、「先生、これがうちの保育園の卒園文集です。」と言ってもらった冊子を見てびっくりした。園児一人一人がキーボードで入力し、お絵描きプログラムで描いた図のついている文集だからである。しかし、句読点もなく、子どもの日常用語そのまま書かれているために読むのが苦勞だった。

「コンピュータの使い方を教えて、やらせたのですか。」という私の問いに、園長は、「何も教えません。子どもたちがコンピュータをいじっている中に、誰かが新しいやり方や何かを見つける。すると今まで、人気のなかった子どもが大人気になり、引っ張り尻になる。その子が先生になって他の子に教える。こうして誰かが発見したことは、たちまち全ての子に伝わる。このように、自分たちでいろいろなことを見つけ、自分たちで勉強したのです。」と答えた。

話をよく聞いてみると、園長が園長室を離れてしばらくして帰ってくると、園長の机の上にあるコンピュータの周りに人垣ができて何かやっている。園長が帰ってくると散ってしまうが、居ないとまた人だかりになる。そこで、こんなに興味があるのならと、古いコンピュータを2台、園児たちが自由に使えるように園児室の片隅に置いた。すると、黒だかりになって何かやっている。

数日すると、園児の一人が園長室にやってきた。「園長先生、園長先生、お手紙を書いたから見て。」というので、行ってみたら、ちゃんと手紙らしいものが出てくる。そこで、プリンタを持ち出して、打ち出してその子に渡した。すると「お手紙書いた。お手紙書いた。」と喜んで家にもって帰った。それを見た他の園児たちは、自分もお手紙を書くのだと一生懸命やり始めた。「キーボードは問題ありませんでしたか。」という問いに、園長は、「キーの上には、平仮名で刻印してあるから。園児は文字は書けなくとも、全員読むことはできますから・・・」と澄ましていた。

丁度その頃、子どもは小学校にコンピュータを導入するためには、キーボードが問題だから、子どもに使いやすいようにと、50音図に従ってキーを配置した「50音キーボード(通称:一本指キーボード)」を製作して、小学校では使っていた。この保育園や、標準

キーボードを使っている小学校の例を聞いて、特別なキーボードの必要性について、比較研究を始めた。

結果は、入力には差は殆どなく、50音図キーボードを使う子どもは指を1本しか使わないのに、標準キーボードを使っている子どもには複数の指を使っている者もいた。このことから、子どもが使うのにはどちらのキーボードでも構わないということになり、特別のキーボードを作るのを止めた。

低学年生に長い文章を、コンピュータを使って書かせることは必要ない。やらせたいのは、自分たちが書いた文や図をデジタルカメラで撮って、データベースとして記録するために、キーワードをつけることである。この程度であれば、刻印を頼りにで十分である。

## インターネットでの資料収集は

### 時間がかかりすぎる

インターネットで資料収集をさせると時間がかかるのは、先生が話しをすれば半時間ですんでしまう内容を、調べ学習でさせると何時間もかかるのと同じである。しかも、これまでに使っていた紙を媒体とする資料収集と違い、全く新しいメディアを使っての資料収集であるから、さらに時間がかかっても当然である。

は、以上のことを当然と考えるか否かの問題である。今の学校では、先生が教えこむのではなく、子どもの主体的活動を中心に学習を進めることが求められている。新しい学習指導要領では、その点がさらに強調されている。教育は、効率のみを求める産業界とは違う。子どもの成長のためには先生目からは無駄と思われることも重要なのである。無駄なことを繰り返しながら、自ら気づき成長していくのである。

検索プログラムを使って、必要な内容をもっているホームページを探すことは、高学年の子どもにとっても易しいことではない。戸頭西小学校では、「調べ学習をする際、情報収集をしやすいためにつくられたものです。」と説明されて、子どもの学習に役立つホームページのリストが、「学習リンク」として、学年・教科別に作られている。このリンクに示されたホームページ名をクリックすれば、必要なサイトにとんでいけるので、子どもの調べ学習に必要な時間を短縮し、かつ必要な情報を入手できる。

「学習リンク」を準備するために、先生は検索プログラムを使って適切なサイトを探し、内容を読んで子どもに役立つサイトを選んでおく必要がある。この仕事は、先生にこれまではなかった余分の仕事を背負わせることになるであろう。しかし、このような努力なしには、小学校でのインターネットを通じての情報収集は困難であるので、ぜひ努力していただきたい。

(21世紀教育研究所所長)

## スタディノートの研修会は「人にやさしい町」で

余田 義彦

去る2月26日(土)、筑波女子大学(茨城県つくば市)でスタディノートワークショップ(主催:筑波女子大学)が開催されました。このワークショップの中級コースで、余田先生が、スタディノートの研修会を成功させるためのノウハウを紹介されました。その記録を文章化して掲載します。なお、この映像および資料は、スタディノートのホームページ(<http://www.kasei.ac.jp/eco/index-j.html>)で見ることができます。

### 「自己紹介」のような無意味な操作練習は 百害あって一利なし

この7,8年、いろいろなところでスタディノートの研修会をやってきました。最初の頃の実習では、自己紹介をスタディノートで書いて、それに、ちょっとメニューを加えてリンクも張れますよといったようなことをやっていた。でも、そうした研修を何度か繰り返しているうちに、このやり方はよくないなと考えるようになりまして。どうしてかという、研修を受講された先生方が学校へ帰られて、さあ、スタディノートを活用した授業されるとなった時に、やはり「自己紹介」なのです。クラスの中でみんなよく知っている同士なのに自己紹介をやって、それで終わってしまう、授業が続いていかないのです。ですから、研修会では、もっと授業のイメージに近いものをやらないとダメだなあと痛感いたしました。また、初期の研修会では、どうしてもスタディノートはこんなことができます、あんなこともできますと機能をたくさん説明していたわけですが、これも良くありませんでした。

### 授業でそのまま使える内容を研修で取り上げる

いろいろと試行錯誤を繰り返してみても、これから提案する「人にやさしい町」という研修が生まれました。生まれましたと言いましたが、これは、私が一人で考えたものではありません。以前、「本の紹介」というデータベースの研修がありまして、このパターンでいろいろできますと提案したところ、つくば市立並木小学校の毛利先生が考えられて、地域の研修会で実際にやってみてごらんになったものです。そして、この研修は、学校へ持ちかえった時に、「総合的な学習の時間」でたとえば福祉をテーマにしてみんなで考えてみようというように、そのまま授業に使えるものです。

### 研修活動「人にやさしい町」の概要

実際の研修の詳しい方法については、資料をご覧ください。いたって簡単です。まず、昼休みにデジタルカメラを持って写真を撮ってきます。そして、その写真をスタディノートに貼りつけます。貼る位置はたとえば、画面の右側と決めておきます。スタディノートでは、画面に直接絵をかくこともできますが、絵をかき始めると、時間がかかってしまって研修会がそれだけ

で終わってしまう、研修にならないということが起こってきます。ノートで絵をかくということは、授業で子供に、「絵がかけるよ」といえば、どんどんかき出します。先生が特に研修会で勉強する必要はありません。だから、デジタルカメラで取った写真を貼りつけることができます、大きさや位置を変えることもできますということを知っていればいいので、それだけ研修しておきましょうということです。さらに、この写真についての100程度のコメントを書き入れます。

### プレッシャーを与えず楽しい活動を演出する

「人にやさしい町」を「総合的な学習の時間」で福祉を取り上げることができると言いました。福祉というと、すごいことをやらなければならないように思われるかもしれませんが、たとえば、「緑がいっぱいで、やすらぎます」とか「噴水があると気持ちがいいですよ。」というので、「人にやさしい」こととして、OKだと思います。先日、仙台へ行って研修会を行ったとき、私がネタのしたものをご紹介します。仙台の駅に降りて、たまたま、お弁当を食べました。「ほっき弁当」とか言いまして、なかなかおいしいものでした。そこで、「仙台というのは、食べ物がおいしくていいところですね」ということも人にやさしいことではないかと思いました。そこで、お弁当の絵をかいてそれをデジタルカメラで撮って使いました。そのぐらいの「こんなこともあるよね」ということで充分だと思います。

### ジャンプボタンの研修は不要・・・

#### テクニックに走らないことがポイント

スタディノートというと、ジャンプボタンを使ってということになりがちですが、この研修では、2ページも作りません。まずは、1ページだけです。そして、もっとやりたい人には、それぞれに、こんなことができますよと教えていきますが、参加者全員が作るノートは、1ページだけです。そういうレベルで、写真と文章を入れたノートができるだけで、たとえば、理科の授業で、実験の絵や写真に考察をかき入れたノートを作ったり、美術の作品をデジタルカメラで撮って、「こんな作品をつくりました」というようなコメントや感想を入れたノートを作ることもできるなど、いろいろと応用できますねといいながら、そのパターンを紹介します。

### 電子メールの操作練習は5分で充分

1ページの「ノート」ができれば、これを電子メールで送ります。初心者の先生方は電子メールというのも初めてなわけですから、通常の電子メールソフトですと、初めての方がメールを送るだけで3時間ぐらいかかってしまうことがあります。ところが、スタディノートのメールではすぐにできてしまいます。ですから、一度経験しておけば充分だということです。特に「メールを送る」という研修の時間を取る必要はありません。ノートをつくって、それを隣同士で、送りっこをしてこれで電子メールができたということです。

1ページの写真と文章からなるノートを作ってメールのやり取りをして、約1時間の研修です。実際の取材を研修中にやっていただくこともできますが、事前に材料を準備してきていただいてもいいわけです。

次の1時間でデータベースの研修を行います。あらかじめ用意したからっぽのデータベースに先に作ったみんなの情報を入れてもらいます。

### 電子掲示板の研修は不要・・・

#### データベースの研修は必ず行う

各地のスタディノートが導入されている学校などで、ノートを書いて、メールで送る、掲示板に出すというところまでは、行きやすいのですが、データベースというとなかなか敷居が高いようです。データベースという言葉がとっつきにくいのが原因かもしれません。電子会議室といった言い方がわかりやすかったかもしれませんが、対話のデータベースといったことで、データベースと言っています。対話というのは、いろいろと幅広いところで活用できると考えました。敷居が高いように見えますが、実際にスタディノートの「データベース」を使ってみると、決して難しいものではありません。

### キーワードをつける

データベースに登録するときに、キーワードをつけます。「人にやさしい町」では、キーワードは、「衣」「食」「住」「その他」です。自分の「ノート」はどのキーワードになるかを考えてデータベースに入れます。そして、自分と同じジャンルにはどんなものが作られたかなどのキーワードを使った検索をやってみます。

### 上手な引用の方法を教える

#### 子情報（コメント）を書いてもらう

次に、興味を持った情報を表示して、「子情報を書こう」ボタンをクリックすれば、ノートを書こうに戻らずに、すぐに子情報を書くことができます(Ver.4)ので、子情報を書きましょうとすすめます。この子情報を書くとき、親情報を上手に引用することをアドバイスしましょう。文章だけでなく、写真を引用することも、で

きます。こうして、データベースで1時間ほど楽しく研修をすることができます。

### 子情報（コメント）がつく楽しさを

#### 実感してもらう

研修に参加された先生方がいろいろな学校からいらっしやっている場合など、お互いに顔見知りではありません。知らない者どうしが顔を合わせての話し合いをしても、なかなか意見がでてこないことが多いのですが、データベースでは、「いいですよー」などといった意見が気軽に出てくるわけです。そして、自分の書いた情報にどんどん子情報が貯まって行くのがすぐに見えるので、案外面白い研修になります。

### 最後に研修活動「3分でできるデータベース」をやる

データベースを使うことに約1時間、合計で2時間です。そして最後に「3分でできるデータベース」をやると良いと思います。データベースを設計するとなると、初心者にとっては、これがまた敷居が高いわけです。敷居が高い理由の一つは、自分でやったことがないということだと思えます。やってみれば「なあんだ、簡単だ」と思われる方が多いとおもいます。3分どころか30秒でできてしまうのです。授業準備で子供たちに何か指示している間にちよっちょっとならしてしまったりといったものです。それを身を持って体験していただくことが大事だと思います。ただ、全員がやってみるといって程のものでもありません。誰か希望の方にやっていただいで、「ね、簡単でしょう」ということをみんなで確認すれば充分だと思います。これは、本当に誰でもできますから、できるということを自信をもっていたいただければよいのです。

### 2時間の研修で「授業ができる」ことが重要

こうして、2時間半程度の研修を受ければ、とにかくスタディノートを活用した授業ができます。そして、授業で実際に使ってみて、「こんなことは、できないの?」「こんなことをやりたいのだけれど」となれば、しめたもの次のステップへととなります。

実際に学校にコンピュータが入ってきてもそんなに研修の時間を取ることはできないと思います。1時間か2時間程度で研修は終わりとなってしまおうと思えます。授業にすぐに活かせる内容の研修を行うかどうかで、スタディノートが使われるようになるかどうかが決まるわけです。責任重大です。

この「人にやさしい町」は、色々なところで使われてきた実績があり、しかも成功している研修活動です。このとおりにやっていけば、うまくできます。

各地で行われる研修会では、ぜひこの研修活動をご活用下さい。

(筑波女子大学 助教授)

5ページから8ページに「人にやさしい町」の研修資料があります。これをそのまま印刷して受講生に配布し、それを読み上げながら研修活動を進めていくようにして下さい。

デジタルカメラ, ノート, 電子メール / 所用時間 60分

## 人にやさしい町(1)

### 活動のねらい

住み良い町作りの工夫について、調べたことを紹介しあいましょう。これは、初心者向けの研修会でやるとよい活動です。この活動では、デジタルカメラ、ノート、電子メールの初歩的な使い方を学びます。この後で「人にやさしい町(2)」を行いますと、データベースの初歩的な使い方を学ぶことができます。

### やること

活動の大まかな流れは次の通りです。活動の大まかな流れは次の通りです。

1. 町を探索して、住み良い町作りの工夫が見られる風景をデジタルカメラで撮影する。
2. ノートの画面の右半分に1で撮影した写真を入れる。(20分)
3. ノートの画面の左半分に説明とコメントを書く。(15分)
4. 3で完成したノートを電子メールを使って隣の人に送る。(5分)

### ワンポイント

#### ノートで一番大切なのは題名です

ノートの題名には、一番伝えたいことを入れるようにします。他の人と同じ無個性なものや一般的なものはよくありません。例えば、今回のように町作りの工夫を紹介しあう活動であれば、工夫を見つけた場所や、工夫の内容を題名に入れるべきです。「住み良い町」とか「町作りの工夫」というような一般的な題名は不適切です。電子掲示板などで他の人の情報と並べたとき、似たような題名ばかりが並ぶことになるからです。また、ノートを開いて本文を読まないで、中身がわからないからです。

### JPEG 形式

デジタルカメラの画像をスタディノートに取り込みたいときは、カメラの画像データをJPEG(ジェーペグ)と呼ぶ巻式でフロッピーやハードディスクに保存しておきます。

### 活動のステップ

注意 この活動では、各ステップのはじめで、まずインストラクタがデモンストレーションを行います。その後で時間をとりますので、各自がそのステップをやってみるようにして下さい。

#### 1. 町を探索して、住み良い町作りの工夫が見られる風景をデジタルカメラで撮影する。

カメラは右の図のように横位置に高7で撮影して下さい。

後で画像を90度回転させる手間を省くためです。




#### 2. ノートの画面の右半分に1で撮影した写真を入れる。(20分)


ノートの一覧画面で[書こう]をクリックし、「新しいノート」を選びます。

ノートの題名を入れます。ここでは、「.....(地名)にて」と入力して下さい。

ノートを開いたら、[文を書こう] [絵をかこう] [読もう]の三つのボタンとそのはたらきを確認します。

[絵をかこう]を選び、絵がかかる状態にします。

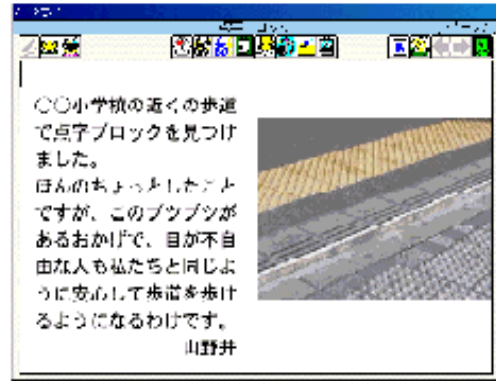
道具パレットで (スタンプ)を選び、1で撮影した画像を唐附tけます。

道具パレットの (囲み)を使い、写真の位置や大きさを調整したり、不要な部分を削除します。

#### 3. ノートの画面左半分に紹介文を書く。(15分)

[文を書こう]を選び、文が書ける状態にします。1ページめの左半分に、簡単な挨拶文や写真の説明、コメントなどを入力します。[文字の大きさ]を使って、読みやすい大きさの文字になるように調整して下さい。

早くできた人は、[文字のかざり]を使って文字に色を付けてみて下さい。  
また、[絵をかこう]ボタンをクリックして道具パレットのスプレーなどを使って画面をきれいにかざりましょう。  
[読もう]で、表示内容を確認します。  
[終わり]で、ノートを閉じます。



#### 4.3で完成したノートを電子メールを使って隣の人に送る。(5分)

[電子メール]を選び[送ろう]を選びます。  
ノート一覧画面で、3で作成したノートを選び、[決めた]ボタンをクリックします。  
次の画面で、「どこの」「だれへ」に隣の人を選んで[ポストへ]ボタンをクリックします。  
隣の人とメールが届いたことを確認しあい、メールの内容を画面に表示します。

### 参考

#### 道具パレットの[ ]の使い方

[ ]で絵の範囲を選んでおき、次のキー操作をすることで、様々な効果を加えることができます。

大きく移動:マウスでドラッグ	1ドットずつ移動: キー
選択範囲を削除:[Delete]キー	選択範囲の外を削除:[Ctrl]キーを押しながら[Delete]キー
縮小:[Ctrl]キーを押しながら キー	右90度回転:[Ctrl]キーを押しながら キー
拡大:[Ctrl]キーを押しながら キー	右90度回転:[Ctrl]キーを押しながら キー

### 自己評価

この活動では次のことを目標にしていました。できるようになったと思う項目にチェックを入れましょう。  
ノートの題名としてどのようなものが適切か説明できる。.....  
ノートの作成開始・終了操作ができる。.....  
デジタルカメラで写真を撮影できる。.....  
文章とデジタルカメラの写真で告げられる簡単なノートを作成できる。.....  
電子メールの送受信ができる。.....

### インストラクタ向け情報

#### 活動のステップ1に時間を取れない場合

研修会の案内に次の一文を入れて準備をして来てもらって下さい。『自分が住んでいる町や村で『ここは人にやさしいな...』と感じる風景を探しだし、その写真かスケッチを1枚持参して下さい。また、なぜそのように感じたのか、その理由を100字程度で書いた文章も持参して下さい。』

そして、研修会を始める前(受け付けの時間など)に、次に述べる方法で写真やスケッチの撮影を済ませておきます。まず、最初に来た人がインストラクタに撮影方法を教えてもらい撮影します。次に来た人は、直前に撮影した人に撮り方を教えてもらい撮影します。これを順に繰り返します。

#### デジタルカメラの画像は「みんなのフォルダ」に入れて整理する

マビカ以外のデジタルカメラを使う場合は、[みんなのフォルダ]の中に[研修用]フォルダを作成し、さらにその中に[おすすめ本]フォルダを作成し、撮影した画像ファイルを入れます。受講生が多い場合は、[おすすめ本]フォルダの中にさらにフォルダを作り、画像ファイルを叙 かつぐくらいの単位に分けて管理すると、ネットワークの混雑を避けて快適に使えます。また、先生用コンピュータのデスクトップに、[みんなのフォルダ]へのショートカットを作っておくと、デジタルカメラの画像ファイルを先生用コンピュータからサーバの[みんなのフォルダ]へ簡単に移すことができます。



デジタルカメラ, ノート, 電子メール / 所用時間 60分

## 人にやさしい町(2)

### 活動のねらい

この活動では、(1)で作成した「人にやさしい町」のノートを、「データベース」という入れ物に入れます。このようにすると、情報を一カ所にまとめることができ、共同利用しやすくなるからです。また、沢山の情報から関心のある情報を探し出すことや、他の人の情報に自分の情報を関連づけて加えることも簡単にできるようになります。この活動を終わると、データベースの初歩的な使い方を理解できます。

### やること

活動の大まかな流れは次の通りです。活動の大まかな流れは次の通りです。

1. (1)で作成したノートをデータベースに親情報として加える。(20分)
2. データベース中の情報をキーワードで検索する。(10分)
3. 興味をもった情報について感想や質問を子情報として加える。(30分)

### ワンポイント

#### データベースとは

データベースは、情報をテーマごとに集め、それを効率よく検索し再利用できるようにする仕組みです。データベースは、情報をテーマごとに集め、それを効率よく検索し再利用できるようにする仕組みです。情報の図書館のようなものだと理解すればわかりやすいかもしれません。

#### 種類情報とは

種類情報は、情報がどのような種類のものか、中身を侮りなくともわかるようにするための仕組みです。荷札を付けて、荷物の中身を明示するようなものだと考えて下さい。種類情報は、全ての情報に必ず一つ付けなければなりません。種類情報は、種類リストを書きかえることで、利用者が自由に定義・変更できます。

#### キーワードとは

キーワードは、情報の内容を浮き言葉です。これは、データベースから情報を効率よく検索するために使います。情報には、キーワードを3つまで付けることができます。キーワードは、キーワードリストを書きかえることで、利用者がいつでも自由に定義・変更できます。

#### 親情報・子情報とは

スタディノートのデータベースには、ある情報とそれに対する補足的な情報を関連づけて貯めておける仕組みがあります。前者の情報を**親情報**、後者の情報を**子情報**と呼んでいます。たとえば、工夫を紹介した情報と、それについての感想があるとします。この場合、右図のように、「工夫」を親情報、「感想」をそれに対する子情報としてデータベースに加えますと、両者は関連づけて保存されます。

親情報 - 子情報の組み合わせとしては、クイズ(親情報)と回答(子情報)、作品(親情報)と感想(子情報)、試作品(親情報)と完成品(子情報)なども考えられます。

また、右図のように、話題(親情報)とそれへのコメント(子情報)という関連づけもできます。この方法を使いますと、時間やクラスの壁を越えて対話を深めていくことができます。



## 活動のステップ

注意 この活動では、各ステップのはじめで、まずインストラクタがデモンストレーションを行います。その後で時間をとりますので、各自がそのステップをやってみるようにして下さい。

### 1.(1)で作成したノートを親情報として加える。(20分)

データベースを選び、データベース一覧で『人にやさしい町』を選びます。

情報一覧の画面が毎7されたら、[情報を加える]を選び、(1)で作成したノートを親情報として加えます。そのとき、種類は種類リストから「紹介」を選びます。キーワードは、キーワードリストから自分のノートの内容をよく浮7ものを選んで下さい。これは3つまでつけることができます。

### 2.データベース中の情報をキーワードで検索する(10分)

情報一覧の画面で、[キーワードで]を選びます。そして、1で自分の情報に付けたキーワードと同じキーワードが付いている情報を検索してみましょう。ありましたか？

キーワード検索で毎7件数が絞られた情報一覧画面を元の状態に戻すには[全部]を選びます。

キーワード検索の機能 7gって、その他の読んでみたい情報を探しましょう。

### 3.興味をもった情報について感想や質問を子情報として加える。(30分)

2で興味をもった情報を一つ選んで毎7します。そして、[子情報を書こう]ボタンを選びます。

題名を入力し、前の人の文章や絵を上手に引用しながら、感想や質問を書いて行きます。

書き終わったら、[終わり]ボタンを選びます。そして、次に毎7される画面で[加えて終わる]ボタンを選び、種類は「感想」か「質問」を選びます。キーワードは不要です。を選び、種類は「感想」か「質問」を選びます。キーワードは不要です。

情報一覧画面で、子情報を探し、その内容を毎7してみましょう。

## 参考

この活動では、題材として福祉に関する総合的な学習を取り上げてみました。しかし、「町作りの工夫」の代わりに「環境調査」を取り上げれば環境学習になりますし、「図書紹介」を取り上げれば読書指導になるというように、ここで行った活動は色々な応用が効きます。このパターンで色々な教科の授業に挑戦してみてください。

## 自己評価

この活動では次のことを目標にしていました。できるようになったと思う項目にチェックを入れましょう。

データベースに、親情報を加えることができる。.....

データベースに、情報を加えるとき、種類情報とキーワードを適切に付けることができる。.....

データベースで、キーワードを使って情報を検索・毎7できる。.....

データベースの情報一覧画面を見て、親情報と子情報をそれぞれ指摘できる。.....

データベースに、子情報を加えることができる。.....

## インストラクタ向け情報

### 事前に空のデータベースを作っておく

この活動を行うには、事前に『人にやさしい町』という題名で空っぽのデータベースを作成しておく必要があります。このデータベースの種類リストには、「紹介」、「感想」、「質問」を用意しておきます。また、キーワードリストには、「衣」、「食」、「住」、「その他」を用意しておきます。

### ステップ3では、引用の上手なしかたを補足説明する

前の人を書いた文章や絵を上手に引用し、それに一言を付け加えていく...という方法を取りますと、コメントを書きやすいですし、後で子情報を読んでいくとき対話の流れを読みとりやすくなります。文を引用する、文や絵をそのまま引用する、という二通りの方法で、他の人の情報を上手に引用するデモンストレーションを行い、受講生にはそれを真似るようにしてもらってください。



信州大学教育学部附属教育実践総合センターの研究発表大会  
長野県信州新町中学校の実践報告のご紹介

長畦@穂高西小学校です。

3月11日(土)に信州大学教育学部附属教育実践総合センターの研究発表大会があり、情報分野で信州新町中学校(長野県)の水倉先生から特殊学級でのスタディノートの実践発表がありました。生徒の1年間の育ちの姿に感激しましたので、紹介させていただきます。

4月には生活記録に3行程度書くのがやっとで、表記にも誤りがみられた生徒が、デジタルカメラやノートを使って自己紹介や先生の紹介を作りました。意欲的に撮影し紹介文を書き、文章も少しずつよくなりました。そして、早月中学校(富山県滑川市)との交流をきっかけに、メールを書くときには、辞書をひき

ながら漢字を調べ、何度も読み返し、できたメールに間違った個所がないか、自分から先生に見てもらおうようになったそうです。先生が見たときには、文章の量は飛躍的に増え、漢字も増え、表記の誤りもほとんどなくなっていたそうです。最後のOHPには4月の3行の生活記録と最近書いたメールが並んで表示されましたが、それはもう驚きと感激です。

交流学習のすばらしさと可能性を実感するとともに、生徒の実態に合わせたスモールステップの単元計画、細かな配慮に支えられた事前準備など、多くのことを学ばせていただきました。

(2000年3月12日 / 穂高町立西穂高小学校 長畦明人)

## スタディタイム試用版について

ECO News No.64でお知らせしたスタディタイム試用版についていろいろとお問い合わせを頂きました。そのうちの主なものについて、お答えいたします。

Q1 スタディタイム試用版に入っている「スタディタイム」は、市販のものとは、どう違うのですか？

A1 スタディタイム試用版のスタディタイムは、基本的には市販のスタディタイムと同じですが、次の点が異なります。

- ・実行できるのは、試用版CD-ROMに入っている教材だけです。
- ・SSTの保存はできません。
- ・機能メニューが表示されないのので、教材のコピー等の機能操作が出来ません。

Q2 使用期限があるのですか？

A2 試用期限は特に設けていません。

Q3 どんな教材が入っていますか？

A3 収録されている教材は以下の小学校12本、中学校7本、合計19本です。

小学校1年生	算数	たし算	1-10
小学校1年生	算数	時計の読みかた	1
小学校2年生	算数	かくした数はいくつ？	
小学校3年生	算数	分数新幹線	
小学校3年生	社会	ミヤの時間旅行	
小学校4年生	算数	面積	
小学校5年生	国語	形声文字のヒミツ	
小学校5年生	算数	倍数と公倍数	
小学校5年生	算数	分数島の冒険	
小学校5年生	理科	イナダの解剖	
小学校5年生	性教育	生命の誕生	
小学校6年生	家庭	こんだて作り	

中学校1年生	社会	時をかけるさちこ
中学校1年生	数学	正負の加減
中学校1年生	理科	金星の見え方
中学校2年生	英語	カン太君の色鉛筆
中学校3年生	国語	さわらび
中学校3年生	数学	三平方の定理
中学校3年生	英語	カン太君の大冒険

Q4 一人で何枚も申し込むことはできますか？

A4 スタディタイム試用版は、先生方にお試しいただくために作成致しました。そのため、原則としてお申し込みはお一人一枚とさせていただきます。授業などで多数のパソコンでお使いいただく場合は、シャープシステムプロダクト(株)から貸し出しを含めて対応してもらえますので、お問い合わせ下さい。

### <スタディタイム試用版お申し込み方法>

「スタディタイム試用版希望」と明記し、その下に送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号、あれば、E-mailアドレスをご記入の上、下記へメールまたはFAXでお申し込み下さい。出来れば学校名等の所属名をお書き添え下さい。

宛先 シャープシステムプロダクト(株)

スタディタイム試用版係

E-mail: study@ssp.osa.sharp.co.jp

FAX : 06-6624-0764

お問い合わせ : 06-6625-3233

## お知らせ

### <スタディノート実践ビデオ>

#### 『「総合的な学習」としての環境教育 - つくば市立並木小学校 花室川プロジェクト - 』

上記ビデオをご好評により増刷いたしました。  
価格および申し込み方法は下記のとおりです。

価格：1本 2,000円 消費税：100円  
送料：1本 270円 2本 390円

申込方法：

価格+消費税+送料を下記郵便振替口座へご送金下さい。

郵便振替口座：加入者名 ECO News

口座番号 00160-9-727214

通信欄に、「並木小学校ビデオ」とご記入下さい。

『「総合的な学習の時間」に活かすスタディノート - 八王子市立柏木小学校 - 』は、おかげさまで完売いたしました。

### スタディノート Ver.4 用名簿管理プログラムが提供されます

これまでのもの比べ、操作性、機能、信頼性などが飛躍的に向上した名簿管理プログラムが、シャープシステムプロダクト(株)から提供されます。この名簿管理プログラムを使うと、スタディノートの名簿の年度更新作業が楽にできます。右記の方法で入手して下さい。なお、このプログラムの動作環境は、下記のとおりです。

#### 動作条件および注意

##### 【使用できるスタディノートのバージョン】

スタディノート Ver.4用です。Ver.3をお使いの場合は、シャープシステムプロダクト(株)へ連絡をして最新のバージョンに無償でアップデートしてから、このプログラムを導入して下さい。

##### 【使用できるサーバのOS】

WindowsNT3.51のサービスパック5以降で使用できます。WindowsNT4.0はオリジナルバージョンで動作します。

#### 【入手方法】

##### ・ホームページからダウンロードする方法

次のアドレスへアクセスして、ダウンロードして下さい。

<http://www.sharp-ssp.co.jp/products/study/download/upmeibo.html>

##### ・CD-ROMで入手する方法

インターネットに接続する環境が無い場合は、シャープシステムプロダクト(株)へご連絡下さい。

シャープシステムプロダクト(株)

E-Mail : [study@ssp.osa.sharp.co.jp](mailto:study@ssp.osa.sharp.co.jp)

東京： 03-3267-4656 FAX03-3267-4676

大阪： 06-6625-3233 FAX06-6624-0764

### スタディノートメールマガジンのリスト

#### 余田先生からのちょっと耳より情報！

スタディノートで便利に使用できる映像(mpeg4)入力用ビデオカメラ「インターネットビューカム(シャープ)の初代機とフロッピーディスクアダプタのセットが、デルウェア(デルコンピュータの周辺機器通販)で、なんと1万9800円で販売されています。下記にアクセスして見て下さい。

<http://jpstore.dell.com/store/newstore/GEM/dellware/product.asp?SCatNo=483&category=361>

このインターネットビューカムについては、既に二代目のものも出ていますが、ビデオ出力端子が新たに加わったぐらいで画質等に違いはまったくないそうです。デジカメとして使用して静止画も撮れます。これは「買い！」です。

1998年4月からECO Newsの編集を担当してまいりましたが、この号を最後に担当を交代いたします。No.51からNo.65まで、なかなか思うように発行できないことも多く、会員のみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。また、記事をお寄せ頂きました方々、本当にありがとうございました。これからも、ECO Newsをどうぞよろしく願います。(赤井)

### 21世紀教育研究所

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6

Tel ☎0298-50-3321 ☎ ☎ Fax ☎0298-50-3330

e-mail [econews@green.ocn.ne.jp](mailto:econews@green.ocn.ne.jp)

URL <http://www.eri21-unet.ocn.ne.jp/>